

広報 ちくし

2019・9月 中小企業家同友会筑紫支部



8月例会
『経営者の自己変革』
～他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる～

報告者: 和新工業株式会社 代表取締役会長 森 茂博 氏

経営者の責任として自己変革を決意
「経営基盤の実践」を基点として
時代の流れを読み
経営基盤を再評定 「自分は他の誰(か)の役目を引き受けたのか」の認識をもつて
二つの視点で
経営者の視点
経営者自身の視点
経営者が自分自身の見度を上げる
「選く、認め、任せる、ほめる」
経営者が自分自身の見度を上げるへ～

今年度初めての担当例会を務めさせて頂き、例会作りが如何に自分にとっての成長の糧になったか実感致しました。又、多くの会員さんからの協力やご指導がなければ成し得なかつたと日々繰り返し思います。

今回は、和新工業株式会社の森会長から「経営者の自己変革」をテーマに体験報告をして頂きました。冒頭部分で現代社会の激しい変化に対応する為、経営者は常に学び、気付き、取り組み続けなければならない。現状維持は衰退ではなく、もはや消滅であることを言われ、私自身起業してから会社を良くするために、これまで変わらうと本気で意識した事があったか、会社を守ることは社員の幸せを守る事だということを意識していたか本気で考えました。それから私も自分で出来る共育の取り組みの再挑戦を行いたいと思います。その中から相互理解や承認、傾聴を深め、他人に対し「聴く・認める・任せる・ほめる」の実践を行いたいと思います。

「目の前の人には自分を写す鏡です」という話もありました。今からでも少しでも日々進歩向上、自己変革を行える自分になりたいと気付きました。

8月例会座長 宮本 幸信



女性部委員会8月例会
8月26日

福岡県人づくり・県民生活部・男女共同参画推進課室長の柳瀬氏を迎えて、「今こそ女性リーダー育成について考える！」をテーマに学びあいました。

座長の淀川洋子さん

かずや支部 8月例会
8月20日

「県県から企業へ 理念経営でお客様のベストパートナーを目指して」～危機感からの学び、実践報告～

報告者 佐藤 勝則 氏【筑紫支部長】

（略）

報告者 佐藤勝則さん

8月 プレ例会 極楽 ブロック

9月例会のプレ例会を開催しました。報告者は、福友支部所属の(株)大洋サンソの井上透さんより『社員が生き生きと働ける職場づくり』のテーマで報告していただきました。同友会での学びを通して、社員の物心両面の幸せを考えていくことの大切さを知り、日々努力、実践しているお話をでした。

キラメキ ブロック

9月のプレ例会打合せ&10月ブロック会の企業訪問先の検討&11月例会の打合せをしました！

行事予定

- ◎10月例会
10月17日(木)
報告者:植原 正明氏
『地域と歩む企業経営とは』
- ◎11月例会
11月21日(木)
報告者:西田 朋之氏
西田写真館
『顧客から求められるわが社の付加価値とは』

新会員紹介

NPO法人 グループ ホーム茶屋本陣 横山 里美さん	いより労務管理事務所 山本 慎太郎さん
----------------------------------	------------------------

初めまして、グループホーム茶屋本陣の横山です。
筑紫野市山家で認知症の方に特化した介護施設をしております。平成12年に私の両親が認知症を患った祖父の為に創業しました。4年前に父を事故で亡くし経営を引き継いだものの、右も左も分からぬ所からのスタート。つまずいてばかりで…欠損ばかりが大きくなっています。現在在居者18名、スタッフ27名 みんなの生活を守れる立派な経営者になりたくて、色々な会社の社長様から学ぶ為に入会を決めました。どうぞ宜しくお願ひ致します。

キラメキフロック

(有)フルガード
植原 正明さん

若者が来てくれるには立派な社屋を建てよう!
借金を背負って苦しい毎日の中から道路掃除が始まる。
それが地域とのかかわりの第一歩となった。
脱建設業をめざし地域の中で新しい仕事づくりを模索しながら、会社はどう変わったかの報告です。
お楽しみに!

プレ例会

（有）フルガード 植原 正明さん

レジェンドフロック

西田写真館
西田 朋之さん

11月例会報告者の有明支部 西田写真館を訪問しました

来年、創業70周年を迎えます。
家族写真、記念写真のほか、家族に代々伝えていく自分史のアルバム製作など、暮らしの中に写真のある「豊かな時間」をお届けしています！
11月例会では、自社の強み(付加価値)について報告します！

青年経営者全国交流会 in 熊本

(株)さとう建設
佐藤 勝則

まだ残暑厳しい9月の半ば、熊本で開催された青年経営者全国交流会(青全交)に参加しました。初日は分科会と交流懇親会、二日目は基調講演というスケジュールです。驚いたのは分科会でのグループ討論の時間です。討論は2部構成で合計130分という長丁場。「話が続くのだろうか」と心配しましたがそこは全国区、グループ長もメンバーも上手に討論を進め大変有意義な時間となり、いつの間にか終了時間を迎えていました。こちらの分科会の報告者は東京魚類容器(株)の原さん。私と同世代の方で後継者でもあり共感する部分が多くありました。企業づくりをテーマに自分と自社が変わっていく様子を丁寧にご報告いただきました。なかなか頻繁に参加することのない全国行事ですが行けば素晴らしい学びと出会いが待っています。今回は筑紫支部から2名、福岡県からは107名の参加でした。近場だったからか顔見知りも多く、皆がいれば緊張も緩みます)。近場、または知人と一緒であれば参加しやすいと思います。今後機会がございましたらご一緒しましょう。

『昔の手帳』より

昨日、机を整理していたら、古い手帳の一部を発見。多分、20年前のもの？

人生の時間を1日に例えるなら

AM 4:00⇒15歳	5:00⇒18歳	6:00⇒21歳	7:00⇒24歳	8:00⇒27歳
9:00⇒30歳	10:00⇒33歳	11:00⇒36歳	12:00⇒39歳	13:00⇒42歳
14:00⇒45歳	15:00⇒48歳	16:00⇒51歳	17:00⇒54歳	18:00⇒57歳
19:00⇒60歳	20:00⇒63歳	21:00⇒66歳	22:00⇒69歳	23:00⇒72歳
24:00⇒75歳	25:00⇒78歳	26:00⇒81歳	27:00⇒84歳	

これに例えるなら、今の自分は 17:00 もう夕方、あまり時間が残っていないような気分になりました。
しかし、当社には82歳の棟梁がいます。もうすぐ 26:30になります。眠そうでもありません。頭が下がります、この年齢まで健康で、現役で仕事ができることに。
鼻歌を歌いながら仕事をします。いつも気持ちが穏やかです。ストレスにうまく対応できれば、時間がストップするのかも?
こんな風になれたらしいな～
皆さんの参考になるかわかりませんけど・・・

チームドーイン 仲良し大作戦第2段！

9月14日

天拝公園観月会

9月例会

「本物の働き方改革を目指す！ 社員が生き生きと働く職場づくりとは？」

報告者：株式会社大洋サンソ 代表取締役社長 井上 透 氏

今日は、福友支部の井上透さんから「社員が生き生きと働く職場づくり」について報告していただきました。3代目社長として就任した頃は「自分自身がしっかりしていれば会社は大丈夫」と勘違いしていたと語る井上さんでしたが、今では「共に育たなければ人は残らない」と考えるようになった、その変化の話がとても印象に残っています。

井上さんは現在も、数年後～数十年後の社員の姿を想像しながら「共に育ち」「生き生きと働ける」会社を作るため、給与面や社員のキャリア形成といった物心両面から社員満足度を高めるべく職場づくりを行っています。社員が生き生きと働くためには、会社や仕事に対する喜びや満足が必要不可欠ですが、働きがいのない会社や、スキルやキャリアアップも望めない会社では、たとえ高い給料であったとしても喜びや満足は感じられません。大切なのは社員が「明日も会社で働きたい」と思える職場づくりではないかと私は考えます。

私は個人事業主として活動していますが、いずれ社員を雇い、社員の成長をさせることができる会社にていきたい。と、最近考えるようになりました。

人を採用することは簡単ではないですし、その上成長まで考えるなんて途方もないことかもしれません、今回の例会では、その想いを再確認した例会となりました。

9月例会座長 得能 芳樹